

大垣市教育振興基本方針策定に関するパブリックコメントの実施結果

1. 実施概要

(1) 実施期間 : 平成21年12月21日～平成22年1月20日

(2) 意見を求めた計画 : 大垣市教育振興基本方針

2. 実施結果

(1) 意見提出者数 : 2人

(2) 意見提出件数 : 3件

3. 意見の概要と市の考え方

NO	意見等の概要	市の考え方(対応)
1	<p>現在、留守家庭児童教室の対象者が小学校1年生から4年生までです。</p> <p>安心して働くためにも、対象者を6年生まで引き上げください。</p>	<p>対象者を引き上げるためには、新たな教室環境の整備や指導者の確保が必要となります。</p> <p>(仮称)大垣市青少年健全育成計画を策定する際や教育委員会で、検討していきます。</p>
2	<p>先生のスキルによってクラスの雰囲気が大きく変わり、それが学力の定着に大きく影響します。</p> <p>先生の資質を向上させる研修を充実させてほしいです。</p>	<p>基本方針案では、小中一貫性のある教育を大きなテーマとして、教職員の指導力の向上を図るために研究を進め、その成果を各小中学校に広げていることを示しています。</p> <p>具体的施策は、(仮称)大垣市学校教育振興計画の中に盛り込んでいきます。</p>
3	<p>学校によって学力に格差があると聞きます。学校間での学力の格差をなくし、学力の定着に有効な施策を取り入れてください。</p> <p>少人数指導や小学校での教科担任制</p>	<p>基本方針案では、確かな学力を育むため、TT(チーム・ティーチング)や少人数指導、小学校高学年での教科担任制の試験的な導入実施を示しています。</p> <p>具体的施策は、(仮称)大垣市学校教育振興計画の中に盛り込んでいきます。</p>